



平成 30 年 8 月 28 日

各位

会 社 名 株式会社エムビーエス
代 表 者 名 代表取締役社長 山本 貴士
(コード：1401 東証マザーズ 福証 Q-Board)
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 栗山 征樹
電 話 番 号 0 8 3 6 - 5 4 - 1 4 1 4

新株式発行等に関する資金使途計画の変更に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 8 月 3 日付「有価証券届出書の訂正届出書」(以下、「本件公募増資等」といいます。)に記載いたしました「新規発行による手取金の使途」(以下、「資金使途」といいます。)について、下記の通り変更することといたしましたのでお知らせ致します。

記

1. 変更の理由

当社は、主軸事業であるホームメイキャップ事業の収益拡大及び施工品質強化を目的として、設備資金、研究開発費及び運転資金に充当するため、本件公募増資等を実施いたしました。当社が今後取り組む事業の方向性に変更はありませんが、これらの計画実行にあたり、投資時期の見直しや実施内容の検討、金額の精査等を実施いたしました結果、本件公募増資等の資金使途及び充当期期につきまして、一部変更を行うことといたしました。

設備資金につきましては、人員配置の見直し等により支店開設及び足場資材購入の計画に遅延が発生し未充当となっております。

研究開発費につきましては、研究開発の進捗にあたり解決すべき事象が発生し、その解決に当初の計画以上に時間を要したために遅延が生じ未充当となっておりますが現在は解決の見通しがたっております。

運転資金につきましては、採用業務の内製化や研修期間の短縮等により計画内容の変更が生じ一部未充当となっております。

また、ホームメイキャップ事業の材料使用量増加に伴い発生する材料保管費を軽減するために、保管用倉庫の取得費用に充当内容を一部変更いたしました。

2. 変更の内容

本件公募増資等にて記載いたしました資金使途の変更は、以下の通りであります。

【変更前】

上記の差引手取り概算額 332,345 千円につきましては、主軸事業であるホームメイキャップ事業の収益拡大及び施工品質強化を目的として、設備資金、研究開発費及び運転資金に充当する予定であります。

具体的には、以下のとおりであります。

① 設備資金

現状外注費に上乗せされている足場資材等の自社購入資金、支店開設資金、調色設備購入資金、工事一元管理システム構築資金として、101,500 千円（平成 28 年 5 月期 51,500 千円、平成 29 年 5 月期 25,000 千円、平成 30 年 5 月期 25,000 千円）を充当する予定であります

② 研究開発費

カラーコーティング施工及びスケルトン防災コーティング施工に関する研究開発費として、129,000 千円（平成 28 年 5 月期 43,000 千円、平成 29 年 5 月期 43,000 千円、平成 30 年 5 月期 43,000 千円）を充当する予定であります。

③ 運転資金

支店及び生産能力拡大のための新卒及び中途採用に関する費用、教育研修費として、101,845 千円（平成 28 年 5 月期 33,948 千円、平成 29 年 5 月期 33,948 千円、平成 30 年 5 月期 33,948 千円）を充当する予定であります。

なお、これらの資金に関しましては、充当までの間は、安全性の高い金融商品等で運用する方針であります。

【充当実績及び変更後の充当計画】

変更前に計画しておりました資金使途額の 332,345 千円のうち、100,041 千円につきましては、平成 30 年 5 月時点で以下の通り充当しております。

- ① 設備資金としての支店開設費、調色設備購入資金、工事一元管理システム構築資金として 38,046 千円
- ② 研究開発費としてのカラーコーティング施工及びスケルトン防災コーティング施工に関する研究開発費として 9,883 千円
- ③ 運転資金としての支店及び生産能力拡大のための新卒及び中途採用に関する費用、教育研修費として 52,112 千円

上記手取り概算額のうち未充当である 232,304 千円については以下の通り充当を計画しております。

- ① 設備資金としての足場資材等(営業権の取得を含む)の自社購入資金 45,000 千円については支出予定時期を当初計画していた平成 28 年 5 月期から平成 30 年 5 月期の充当期間を、平成 32 年 5 月期から平成 33 年 5 月期までへと変更する予定であります。
- ② 設備資金としての支店開設資金 12,000 千円については支出予定時期を当初計画していた平成 28 年 5 月期から平成 30 年 5 月期までの充当期間を、平成 31 年 5 月期から平成 33 年 5 月期までへと変更する予定であります。
- ③ 研究開発費については支出時期及び金額を、当初計画していた平成 28 年 5 月期から平成 30 年 5 月期までの充当期間を、平成 31 年 5 月期から平成 33 年 5 月期までへと変更し、金額についても 43,200 千円へ変更する予定であります。
- ④ 運転資金につきましては、支店及び施工能力拡大のための新卒及び中途採用に関する費用、教育研修費として 49,733 千円の支出予定時期を当初計画していた平成 28 年 5 月期から平成 30 年 5 月期までの充当期間を、平成 31 年 5 月期から平成 33 年 5 月期までへと変更する予定であります。
- ⑤ ホームメイキャップ事業の材料使用量増加に伴い発生する材料保管費を軽減するために、保管用倉庫の取得費用 82,371 千円を平成 33 年 5 月期までに充当する予定であります。

なお、上記調達資金は、具体的な充当期間までは安全性の高い金融商品等で運用する方針に変更はございません。

3. 今後の見通し

本件資金使途の変更が当社業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、開示の必要性が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

以上